

板柳町総合教育会議議事録

1. 会議日時 令和4年11月10日(木) 午後3時

2. 会議場所 板柳町多目的ホール あぷる 会議室

3. 出席者

(構成員)

町長 成田 誠

板柳町教育委員会

教育長 永澤 正己

委員 坂本 正幸

委員 松橋 洋

委員 田澤 傳弘

委員 三浦 和馬

(事務局)

総務課長 大井 俊介

学務課長 田中 禎一

学務課長補佐 小野 隆政

行政係長 鳴海 紘介

4. 傍聴者 なし

5. 協議・調整事項

① 板柳町立小学校統合整備審議会の答申書について

6. 会議内容

別紙のとおり

別紙

○大井総務課長

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから板柳町総合教育会議を開催いたします。開会に先立ちまして町長から挨拶をお願いいたします。

○成田町長

今日は大変ご苦勞様です。教育委員の皆様には何かとお忙しい中、板柳町総合教育会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。皆様には常日頃から当町の教育行政の推進にご尽力をいただいております。心から感謝を申し上げます。また、10月から新たに教育委員に就任された三浦和馬委員には当町の教育行政に対してご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、去る10月19日に板柳町立小学校統合整備審議会より小学校統合の指針となる答申書が教育長に提出されました。答申書の内容は4校ある小学校を1校に統合し、板柳中学校校地内あるいは隣接した土地に統合小学校を建設し、小中連携教育の充実を図りながら、当町の義務教育エリアとして整備を推進することが望ましいと答申書をまとめていただいております。

答申書の終わりには総勢20人の委員の皆様が、次代を担う子ども達の健やかな成長、よりよい学校教育の推進のため、それぞれが強い使命感と熱い想いを持って審議に臨んでいただいたことが述べられております。改めて、これまで真剣に議論を重ねてこられました、田中会長をはじめ委員の皆様には深く敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

また、教育委員の皆様におかれましては、答申書の内容について真摯に協議・検討を重ねてこられたと伺っております。いずれにしましても、未来ある子ども達が安全で快適に学校生活を送ることができるように、よりよい教育環境を整備してあげることが我々大人の責任であり義務であると思います。

今日はこういったことを踏まえながら皆様と会議を進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○大井総務課長

ありがとうございました。それでは協議・調整事項に入りますが、要綱第3条により町長が議長を務めることとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

○成田町長

それでは、暫時よろしく願いいたします。本日の案件は板柳町立小学校統合整備審議会の答申書の内容となっております。答申書の概要をまとめた資料がありますので、この資料中心に今日の会議を進めてまいります。大きく分けて4つの項目からなっています。1つ目が統合小学校の教育方針について、2つ目が統合小学校の施設整備について、3つ目が統合小学校の教育環境の整備について、4つ目がその他小学校統合に関し必要な事項についてとなっております。この4項は昨年8月に教育長が田中会長に諮問した内容に対する答申となっております。それでは、これについて説明してもらいますけれども、いずれの項目も小学校統合に係る指針となりますので、まとめて事務局から説明してください。お願いいたします。

○田中学務課長

学務課田中です。よろしく願いいたします。板柳町立小学校統合整備審議会の答申書についてご説明いたします。板柳町教育委員会は令和4年10月19日、板柳町立小学校統合整備審議会より、統合小学校の教育方針や施設整備、教育環境の整備など小学校統合に関し必要な諮問事項に関しまとめられた答申書を受け取りました。

教育委員会では3回の会議を開催し、この答申書について念入りに確認しながら、意見交換を重ねております。令和3年8月以来20名の委員による熱心な審議が行われ、とりまとめられた内容は多岐にわたっていました。そして板柳町教育委員会は審議会の答申を踏まえ、次のとおり、板柳町立小学校の統合整備に鋭意努めて参ります。

それでは答申書の2ページをお開きください。

1つ目、統合小学校の教育方針についてです。2ページ、3ページとなっておりますが、1つ目、2ページの上段、(1) 4校を1校に統合する。4校を1校に統合することによって複式学級の解消やクラス替えを可能にし、児童の社会性を育むとともに、一人一人の個性の伸長を図る教育環境を整備する。

その下、2ページ中段(2) 求める学校像。4つの学区から集う児童が、明るく楽しく生活できる、安全で安心に学べる、そして一人一人が大事にされるような学校を構築する。

その下、2ページ下段(3) 小中の連携教育の充実。小学校1校、中学校1校となることの利点を生かし、小学校と中学校相互の連携を強化推進し、9カ年の義務教育に系統性を持たせた小中連携教育を実施する。続いて答申書3ページの上段の方、そのため、統合小学校は、板柳中学校校地内(隣接地を含む)に建設する。

続いて4ページ5ページの2番、統合小学校の施設整備についてです。校舎の教

室や廊下は、ICT教育の環境整備やバリアフリーへの配慮、特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮等を大切にしたい。また、体育館・運動場の配置は地域の社会体育での活用、安全面を考えた校地内のスペースや動線、災害時の対応等にも配慮しながら施設整備を進めたい。

答申書6ページ7ページ、3 統合小学校の教育環境の整備について。校内は、空調設備（エアコン）の設置や洋式トイレの設置をはじめ、照明設備の改善やICT教育に対応するための環境整備の充実を図りたい。また、通学区域の拡大への対応や、効果的な教育活動を展開するためにもサポートする人材の確保等にも努めたい。

続いて答申書8ページ9ページ、4 その他小学校統合に関し必要な事項について。その他、不登校児童のための教育支援（適応指導教室）、放課後学童クラブ、クラブ・部活動、統合小学校準備委員会（仮称）の設置等も検討を重ねたい。そして10ページの終わりにの中断にある、審議会の意見同様に、なお、統合小学校については、可能な限り早期に開校させたい。との意見であります。以上です。

○成田町長

ありがとうございました。ただいま事務局から小学校統合の指針となる答申書の概要について説明がありました。これについて委員の皆様からご意見等がありましたらお願いしたいと思います。なんでも結構ですけれどもありませんか。

○坂本委員

この答申書に1年という長い時間をかけて、答申を出していただいたことと、それからすごく大事なポイントを突いているのではないかなと思っておりました。特にこれからの板柳を担う子ども達のための教育環境のこととかを考慮しておりまして、これは町民への説明会や意見を聴く場所で何回か出てきたものを上手くとりまとめているのではないかなと。町民の要望を生かされた答申書だと思いますし、これをやはり尊重して推進していくべきでないかなと思います。

○成田町長

はい、わかりました。その他何かありませんか。

○松橋委員

統合整備審議会の中で、先ほど坂本委員からも言われましたけれども、20名の委員の方々がこのコロナ禍の中、1年にわたって7回も審議を重ねて子ども達の未来を考えて統合小学校について方向性をとりまとめていただきました。今までもさ

まざまなアンケート結果においても同じような内容でありますので、今後可能な限り早期に、または具体的に事業を推進していただきたいと思っております。

○成田町長

はい。わかりました。あとその他ないですか。

○田澤委員

今回示された答申書の内容は、それぞれにかなり具体性がありまして、これはこの答申書を重く受け止めて小学校統合に向けて進めていければいいと思います。

○成田町長

はい。わかりました。三浦委員は特別何かありませんか。

○三浦委員

大方この答申書の要望を踏まえながら、細かいところはこれからあれですけども、大方この線で進めていくというのに異論はありません。

○成田町長

はい。わかりました。今坂本委員あるいは松橋委員、皆さんから言われたことなんですけれども、今回の答申書の内容をみますと、昨年4月と9月に行ったアンケート調査、あるいは地区懇談会において保護者や町民の皆様から寄せられたご意見等が反映されている内容だと私は理解しております。現在4校ある小学校を1校に統合し、板柳中学校校地内あるいは隣接した土地に統合小学校を建設し、小中連携教育を充実させるといった内容となっています。また、施設整備あるいは教育環境においてもスクールバスの運行やエアコン、洋式トイレの設置など、保護者や町民からの要望の多い項目が答申書に盛り込まれており、町民の声が反映された内容となっていると私も理解しております。

町としてはただ今説明のあった4つの項目について皆様と認識を共有しながら教育委員のお考えを尊重し今後ともしっかりと対応して参りたいと考えております。

教育長には毎回、小学校統合整備審議会に出席され、大変ご苦労があったと思っておりますけれども大変立派な答申書をいただき大変ありがとうございました。審議会ではいろいろなご意見があったと思いますが、これについて教育長から特に何かありましたらお願いしたいと思っております。

○永澤教育長

答申書の中、あるいは事務局の方でも触れておりましたけれども、20名の審議課の委員の方本当に熱心に時間をかけて何度も審議を重ねてくれたということで本当に感謝しているところでございます。具体的な項目については例えばタブレットであるとか、バリアフリーに対応したエレベータをつけた方がいいんじゃないかとか、あるいは自然災害あったとき、8月の下旬ありましたので、その対応の出来る学校の方がいいのではないかと。さらにはエアコン、洋式トイレはかねてより要望事項として大変声が大きかったもので、そのことについても書かれておりました。あるいは、通学方法ということでスクールバスについても触れられておりました。その他直接教育委員会管轄ではないんですけれども、放課後児童クラブ、幼い子ども達あるいは小学校低学年・中学年くらいの子ども達への対応など、また、部活動・不登校の子ども達など、かなり幅広くお話しいただいたことは本当にありがたいことだと思っております。

いずれにしてもいろいろな人たちの考えをまとめて答申書を書かれていますので、本当に説得力のある答申書ができたなと思っております。

教育委員会としてもこの答申書をふまえながら、これに沿って統合小学校を推進していきたいものだと思っております。なお、成田町長には前から何度もお願いしてるし、やはり審議会の中でも財政的な面や、町づくり等とのすりあわせとかもできてきましたので、どうか子ども達のために成田町長のお力添え、道を開いていただくようになんとかお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

○成田町長

ありがとうございました。今教育長がお話ししたこと、これいずれも審議会の委員の皆様の貴重なご意見ご要望でありますので、これは町としてもしっかりと真摯に受け止めて、適切に対応していくということでもあります。今後統合小学校の建設でありますけれども、今皆さんからお話がありましたように、施設の整備や学童保育、通学バスなどいろんな課題がありますけれど、これを解決しながら財政的な面でもしっかりと対応していきたいというふうに考えております。

小学校の統合は町にとって中学校統合以来の大事業になりますので、子ども達の未来のために1日も早い開校をめざし、全力で対応してまいりますので教育委員の皆様には引き続き、ご尽力のほどをよろしくお願いいたします。

この他皆様から特別発言がなければ本日の板柳町総合教育会議をこれで終わりたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

無いようですので、会議の進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

○大井総務課長

ありがとうございました。以上で総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。